

大学等名	清泉女学院大学 清泉大学
プログラム名	清泉AIリテラシー講座

プログラムを構成する授業科目について

- ① 対象となる学部・学科名称 ② 教育プログラムの修了要件 学部・学科によって、修了要件は相違しない

③ 修了要件

共通教育科目の「データサイエンスとAI」「情報リテラシーⅡ」の単位を修得すること

必要最低単位数 2 単位 履修必須の有無 令和7年度までに履修必須とする計画

- ④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
データサイエンスとAI情報リテラシーⅡ	2	○	○	○					

- ⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
データサイエンスとAI情報リテラシーⅡ	2	○	○	○					

- ⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
データサイエンスとAI情報リテラシーⅡ	2	○	○	○					

- ⑦ 「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
データサイエンスとAI情報リテラシーⅡ	2	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
データサイエンスとAI情報リテラシーⅡ	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	科目名【データサイエンスとAI】第2講 補助教材内容【AIリテラシー講座—導入Bの第1.2回—動画15分程度×6本—小テスト6個】 社会で起きている変化(AIが注目される背景、★第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会) AIは何に活用できるのか、AIが注目される背景、★複数技術を組み合わせたAIサービス 科目名【情報リテラシーⅡ】(第1講) 導入:社会におけるデータ・AI利活用 ・ビッグデータ、IoT、AI、生成AI、ロボット ・データ量の増加、計算機の処理性能の向上、AIの非連続的進化 ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会 ・複数技術を組み合わせたAIサービス ・人間の知的活動とAIの関係性 ・データを起点としたものの見方、人間の知的活動を起点としたものの見方
	1-6	科目名【データサイエンスとAI】第4講 補助教材内容【AIリテラシー講座—導入Bの第8回—動画15分程度×3本—小テスト3個】 ニューラルネットと深層学習、AI最新技術の活用例(画像認識)、★深層生成モデル、強化学習、転移学習 科目名【情報リテラシーⅡ】(第3講) 導入:社会におけるデータ・AI利活用 ・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、強化学習、転移学習、生成AIなど) ・AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど) ・基盤モデル、大規模言語モデル、拡散モデル
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	科目名【データサイエンスとAI】第2講 補助教材内容【AIリテラシー講座—導入Bの第3回—動画15分程度×3本—小テスト3個】 データの取得・作成・★オープン化、★1次データ、2次データ、データのメタ化、★構造化及び非構造化データ 科目名【情報リテラシーⅡ】(第1講) 導入:社会におけるデータ・AI利活用 ・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータ ・1次データ、2次データ、データのメタ化・構造化データ、非構造化データ処理 ・ビッグデータ、アノテーションデータ作成・データのオープン化について
	1-3	科目名【データサイエンスとAI】第3講 補助教材内容【AIリテラシー講座—導入Bの第4回—動画15分程度×3本—小テスト3個】 企業におけるデータサイエンスの利用(★仮説検証、知識発見、計画策定、判断支援) ★マーケティングと原因究明、機械による自動化(★製造、物流、販売)、★AIによる新規生成(音声、古文書翻訳等) ★商品のレコメンデーション、敵対的生成ネットワーク(GAN) ←(導入1.6の一部) 科目名【情報リテラシーⅡ】(第2講) 導入:社会におけるデータ・AI利活用 ・データ・AI活用領域の広がり ・研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、サービス ・仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援、活動代替、新規生成 ・対話、コンテンツ生成、翻訳・要約・執筆支援、コーディング支援など生成AIの応用など

(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	科目名【データサイエンスとAI】第3講 補助教材内容【AIリテラシー講座—導入Bの第5,6回—動画15分程度×6本—小テスト6個】 データ・AIを活用の技術概要、★非構造化データ処理(音声、テキスト、画像、動画) ★データ可視化(複合グラフ、2軸グラフ)、★挙動・軌跡の可視化、★リアルタイム可視化 ★パターン認識(認識技術、ルールベース、自動化技術) 科目名【情報リテラシーⅡ】(第2講) 導入:社会におけるデータ・AI利活用 ・データ解析:予測、グルーピング、パターン発見、最適化、モデル化とシミュレーション・データ同化 ・データ可視化:複合グラフ、2軸グラフ、多次元の可視化、関係性の可視化、地図上の可視化、挙動・軌跡の可視化、リアルタイム可視化 ・非構造化データ処理:言語処理、画像/動画処理、音声/音楽処理など ・特化型AIと汎用AI、今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ ・認識技術、ルールベース、自動化技術について ・マルチモーダル(言語、画像、音声など)、生成AIの活用(プロンプトエンジニアリング)
	1-5	科目名【データサイエンスとAI】第4,5講 補助教材内容【AIリテラシー講座—導入Bの第7回—動画15分程度×3本—小テスト3個】 補助教材内容【AIリテラシー講座—導入Aの第3,8回—動画15分程度×7本—小テスト6個】 ★データサイエンスのサイクル、★AI利活用の事例①(スポーツ、流通、製造、マーケティング) ★AI利活用の事例②(画像処理によるヘルスケア及びインフラ分野への適用、自動運転) 科目名【情報リテラシーⅡ】(第3講) 導入:社会におけるデータ・AI利活用 ・データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案) ・教育、芸術、製造、インフラ、ヘルスケア等におけるデータ・AI利活用事例紹介

(4) 活用に応じた様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	科目名【データサイエンスとAI】第6,7講 補助教材内容【AIリテラシー講座—心得の第1,2,3,4回—動画15分程度×12本—小テスト12個】 ★ELSI、個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト ★データ倫理(ねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護)、★AI社会原則 科目名【情報リテラシーⅡ】(第4講) 心得: データ・AI活用における留意事項 ・倫理的・法的・社会的課題(ELSI: Ethical, Legal and Social Issues) ・個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト ・データ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護 ・AI社会原則(公平性、説明責任、透明性、人間中心の判断) ・データバイアス、アルゴリズムバイアス ・AIサービスの責任論 ・データガバナンス ・データ・AI活用における負の事例紹介 ・生成AIの留意事項(ハルシネーションによる誤情報の生成、偽情報や有害コンテンツの生成・氾濫 など)
	3-2	科目名【データサイエンスとAI】第6,7講 補助教材内容【AIリテラシー講座—心得の第5,6,7,8回—動画15分程度×12本—小テスト12個】 ★データバイアス、★AIサービスの責任論、★AI活用における負の事例、★情報セキュリティ(機密性、完全性、可用性) ★暗号化(公開鍵暗号、電子署名)、★パスワード、★悪意ある情報搾取(ランサムウェア) 科目名【情報リテラシーⅡ】(第4講) 心得: データ・AI活用における留意事項 ・情報セキュリティの3要素 ・匿名加工情報、暗号化と複号、ユーザ認証とパスワード、アクセス制御、悪意ある情報搾取 ・サイバーセキュリティ
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用方法に関するもの	2-1	科目名【データサイエンスとAI】第9,10,11講 補助教材内容【AIリテラシー講座—基礎Bの第1,2,3回—動画15分程度×9本—小テスト9個】 量的・質的データ、データの作り方の基本、★データの代表値(平均値、中央値、最頻値) ★データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)、データの標準化、5数要約と箱ひげ図 ★2変数のデータと散布図、2変数の関係と共分散、★相関係数 科目名【情報リテラシーⅡ】 ・データの種類(量的変数、質的変数)(第13講) ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)(第10講、第11講) ・代表値の性質の違い(実社会では平均値＝最頻値でないことが多い)(第9講) ・打ち切りや欠測脱落を含むデータ(第9講) ・データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)(第9講)、外れ値(第12講) ・相関と因果(相関係数、擬似相関)(第12講) ・クロス集計表(第13講) ・母集団と標本抽出(国勢調査、アンケート調査、全数調査)(第1講)
	2-2	科目名【データサイエンスとAI】第12,13,14講 補助教材内容【AIリテラシー講座—基礎Bの第4,5,6回—動画15分程度×9本—小テスト9個】 データの信頼性、2つの質的データの関係、★統計情報の正しい理解、質的データの可視化、量的データの可視化 ★データの図表表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ)、★データの比較の方法 科目名【情報リテラシーⅡ】 ・データ表現(折線グラフ: 第6講～第9講) ・データ表現(棒グラフ: 第11講、第14講) ・データ表現(散布図、ヒートマップ: 第12講) ・データ表現(箱ひげ図: 第10講) ・データの比較(条件をそろえた比較、処理の前後での比較)(第6講) ・データの比較(A/Bテスト)(第1講) ・相手に的確かつ正確に情報を伝える技術や考え方(スライド作成など)(第5講、第15講) ・優れた可視化事例の紹介(第2講)
	2-3	科目名【データサイエンスとAI】—第15,16講 補助教材内容【AIリテラシー講座—基礎Bの第7,8回—動画15分程度×6本—小テスト6個】 ★データ解析ツール(スプレッドシート)、★データの並び替え・ランキング、実データ(★表形式のcsvデータ)を活用した分析レポート作成 科目名【情報リテラシーⅡ】 ・データの取得(機械判読可能なデータの作成・表記方法)(第6講～第14講) ・データの集計(和、平均)(第1講)(第7講) ・データの並び替え、ランキング(第3講)(第10講) ・データ解析ツール(スプレッドシート)(第1講～第15講) ・表形式のデータ(csv)(第6講～第14講)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

国が示した「AI戦略2019」の初級レベルの数理・データサイエンス・AIの知識・技能を習得できる。

講義名	情報リテラシー II a		
講義開講時期	秋期	講義区分	演習
基準単位数	2		
代表曜日	火曜日	代表時限	1 時限
校地	上野キャンパス		
対象学科・年次	人間学部・人文社会科学部・看護学部 共通教育科目・1年次		
必須/選択	必修		

担当教員

職種	氏名
兼任	◎ 池田 ゆり
専任	片瀬 拓弥

授業の概要	本授業は、数理・データサイエンス・AI講座（MDASHリテラシーレベル）の対象科目である。リテラシーレベルは、データと社会との関係性を学ぶ【導入】、データを扱うための基礎的な能力を学ぶ【基礎】、データやAIを活用する際の倫理的・法的・社会的な留意点などを学ぶ【心得】などにより構成される。具体的には、主として表計算ソフトの演習を通して、データの扱い（集計、分類、並び替え、計算、グラフ作成など）を学習し、適切な動画教材等を用いて、AIによる社会の変化、データ・AIの活用領域や最新動向、データ・AI利活用のための技術や留意事項などを学習する。
学習到達目標	具体的な学習到達目標は、以下である。 ①データと社会の関係を理解し、データサイエンス・AIの基本概念を説明できるようになる。 ②表計算ソフトを活用し、データの集計・分析・可視化を適切に行えるようになる。 ③データ・AIを活用する際の倫理的・法的・社会的な課題を理解し、適切な判断ができるようになる。 ④データ・AIの最新動向を学び、さまざまな分野での活用事例を理解する。 ⑤実践的なデータリテラシーを身につけ、適切にデータを活用できるようになる。
成績評価方法	演習課題・まとめPPT（60%）、小レポート（20%）、期末試験／レポート（10%）、受講態度（10%）
課題に対するフィードバック方法	質問等の回答は、口頭又はLMS上の掲示板を活用する。

アクティブラーニング要素

アクティブラーニング要素	プレゼンテーション（発表） リアクションペーパー 外部連携の課題解決型学習（協定あり）
--------------	--

授業計画（授業項目・内容/各回の準備学修（予習・復習）について/担当）

回	予復習	内容
第1回	教科書②：【導入：社会におけるデータ・AI利活用（1-1, 1-2）】の小レポート	オリエンテーション 教科書①：Excelの基本操作 P1-25【基礎：データリテラシー（2-3）】 教科書②：【導入：社会におけるデータ・AI利活用（1-1, 1-2）】の説明
第2回	教科書②：【導入：社会におけるデータ・AI利活用（1-3, 1-4）】の小レポート	教科書①：表の印刷とグラフ作成 P26-37【基礎：データリテラシー（2-2）】

		教科書②：【導入：社会におけるデータ・AI利活用(1-3, 1-4)】の説明
第3回	教科書②：【導入：社会におけるデータ・AI利活用(1-5, 1-6)】の小レポート	教科書①：データベース機能と集計 P38-56【基礎：データリテラシー(2-3)】 教科書②：【導入：社会におけるデータ・AI利活用(1-5, 1-6)】の説明
第4回	教科書②：【心得：データ・AI利活用における留意事項(3-1, 3-2)】の小レポート	教科書①：関数(ROUND関数などを含む) P57-67【基礎：データリテラシー(2-3)】 教科書②：【心得：データ・AI利活用における留意事項(3-1, 3-2)】の説明
第5回	教科書②：【導入：社会におけるデータ・AI利活用】及び【心得：データ・AI利活用における留意事項】のまとめPPT作成	教科書①：ユーザ定義、高度なグラフ P75-94【基礎：データリテラシー(2-2)】 教科書②：【導入・心得】まとめPPTの作成説明
第6回	教科書②：時系列データの可視化の課題提出(復習)	教科書②：時系列データの可視化の演習【基礎：データリテラシー(2-1, 2-2, 2-3)】
第7回	教科書②：平均の算出とその可視化の課題提出(復習)	教科書②：平均の算出とその可視化の演習【基礎：データリテラシー(2-1, 2-2, 2-3)】
第8回	教科書②：標準偏差の算出とその可視化の課題提出(復習)	教科書②：標準偏差の算出とその可視化の演習【基礎：データリテラシー(2-1, 2-2, 2-3)】
第9回	教科書②：大量のデータを扱う方法の課題提出(復習)	教科書②：大量のデータを扱う方法の演習【基礎：データリテラシー(2-1, 2-2, 2-3)】
第10回	教科書②：基本統計量の算出と箱ひげ図の課題提出(復習)	教科書②：基本統計量の算出と箱ひげ図の演習【基礎：データリテラシー(2-1, 2-2, 2-3)】
第11回	教科書②：度数分布表とヒストグラムの作成の課題提出(復習)	教科書②：度数分布表とヒストグラムの作成の演習【基礎：データリテラシー(2-1, 2-2, 2-3)】
第12回	教科書②：散布図の作成と相関係数の算出、ヒートマップの課題提出(復習)	教科書②：散布図の作成と相関係数の算出、ヒートマップの演習【基礎：データリテラシー(2-1, 2-2, 2-3)】
第13回	教科書②：定性データの扱い方とクロス集計、ピボットテーブル・グラフの課題提出(復習)	教科書②：定性データの扱い方とクロス集計、ピボットテーブル・グラフの演習【基礎：データリテラシー(2-1, 2-2, 2-3)】
第14回	★須坂市★の男女・年齢別人口統計を可視化する(課題提出)	実データを活用したデータ分析(データクリーニングと可視化手法) ★長野市★の男女・年齢別人口統計を可視化する【基礎：データリテラシー(2-1, 2-2, 2-3)】
第15回	教科書①：情報倫理・情報セキュリティ関連のまとめPPT作成	教科書①：ExcelとWordの連携 P118-123 情報倫理・情報セキュリティ関連のまとめPPT作成について
第16回		期末試験／レポート

準備学修(予習・復習)時間	「各回の準備学修」項目を確認し、講義・演習は4時間程度の予習・復習を奨励します。
教科書	教科書①：情報リテラシー Windows 11 / Office 2021対応 定価2200円 FOM出版 ※春学期の情報リテラシー1と同じ(Excel部分を活用) 教科書②：[改訂新版] AIデータサイエンスリテラシー入門 定価1848円 技術評論社 (2024年2月文科省改訂のMDASHリテラシーカリキュラム完全準拠)
参考書・文献	第14回の参考サイト(以下から、ExcelデータをDLする) ・長野市年齢別人口統計(長野市は、本学と包括的連携協定を締結している) https://www.city.nagano.nagano.jp/n041000/contents/p004125.html ・須坂市年齢別人口統計 https://www.city.suzaka.nagano.jp/soshiki/3010/1551.html

ICT活用	
ICT活用	自主学習支援【Google classroomを用いて課題を配布する。】 Google Workspace for Education 関連ツールの利用 その他のオンラインツールの利用

学則別表(1) 教育課程表

共通教育課程(2025年度以後入学者)

全学部の開講されていることがわかる資料
清泉大学学則より抜粋

区分	科目名	配当 年次	単位数		授業 形態	備考
			必修	選択		
建学の精神	人間学	1	2		講	
	キリスト教概論	1	2		講	
	清泉講座	1・2	2		講	
教養	聖書の物語	1・2		2	講	
	キリスト教とケア	1・2		2	講	
	キリスト教と世界の文化	1・2		2	講	
	キリスト教と現代	1・2		2	講	
	自己発見の方法	1・2		2	講	
	Critical Thinking	1・2		2	講	
	哲学概論	1・2		2	講	
	経済学入門	1・2		2	講	
	日本国憲法	1・2		2	講	
	ジェンダーと社会	1・2		2	講	
	いのちと社会	1・2		2	講	
	ビジネス思考法	1・2		2	講	
	歴史と文化	1・2		2	講	
	文化共生論	1・2		2	講	
	ワールド・スタディーズ	1・2		2	講	
	国際交流概論	1・2		2	講	
	心理学入門	1・2		2	講	
	身近な自然や技術と人類の未来	1・2		2	講	
	宇宙と生命の歴史	1・2		2	講	
	化学・生物基礎	1・2		2	講	
	生命の倫理	1・2		2	講	
	文学とメディア	1・2		2	講	
	文学入門	1・2		2	講	
	日本語表現	1・2		2	講	
	データサイエンスとAI	1・2		2	講	
	コンピュータサイエンス I	1・2		2	講	
	ウェブデザイン	1・2		2	演	
	データ処理論	1・2		2	演	
	プログラミング I	1・2		2	演	
	AI活用とデータエンジニアリング I	1・2		2	演	
外国語	英語基礎 I	1		2	演	
	English Communication I	1		2	演	
	English & World Cultures	1		2	演	
	中国語	1		2	演	
	ハングル	1		2	演	
	スペイン語	1		2	演	
	諸外国語	1		2	演	
	英語基礎 II	1		2	演	
	English Communication II	1		2	演	
	実践中国語	1		2	演	
	実践ハングル	1		2	演	
	実践スペイン語	1		2	演	
	実践諸外国語	1		2	演	
学習基礎	基礎セミナー I	1	2		演	看護学部は選択
	基礎セミナー II	1	2		演	
	情報リテラシー I	1	2		演	
	情報リテラシー II	1	2		演	
学外活動 スポーツ	学外活動 I	1・2・3・4		2	実	
	学外活動 II	1・2・3・4		2	実	
	海外研修 I	1・2・3・4		2	実	
	海外研修 II	1・2・3・4		2	実	
	健康科学	1・2		2	演	
	体育実技	1		1	実	
キャリア系	ファイナンシャル・プランニング	1・2		2	講	
	社会人マナー基礎	2・3		2	演	
	社会人マナー展開	2・3		2	演	
	現代社会の仕組み	1・2		2	講	
	キャリア・デベロップメント入門	1		2	演	
	キャリア・デベロップメント基礎	2		2	演	
	キャリア・デベロップメント展開	3	2	2	演	看護学部は選択
	キャリア・デベロップメント実践	4		2	演	
	インターンシップ	2・3		2	実	

2023年度・2024年度入学者用

共通教育課程 (2023年度以後入学者)

区分		科目名	配当 年次	単位数		授業 形態	備考	
				必修	選択			
建学の精神	人間学		1	2		講		
	キリスト教概論		1	2		講		
	清泉講座		1・2	2		講		
教養	聖書		1・2		2	講		
	キリスト教とケア		1・2		2	講		
	キリスト教と世界の文化		1・2		2	講		
	キリスト教と現代		1・2		2	講		
	自己発見の方法		1・2		2	講		
	Critical Thinking		1・2		2	講		
	女性とライフコース		1		2	講		
	現代社会とメディア		1		2	講		
	文学とメディア		1・2		2	講		
	文学入門		1		2	講		
	心理学入門		1		2	講		
	経済学入門		1		2	講		
	歴史学入門		1・2		2	講		
	日本国憲法		1・2		2	講		
	哲学概論		1・2		2	講		
	自然科学概論		1・2		2	講		
	女性と社会		1・2		2	講		
	生命の倫理		1・2		2	講		
	いのちの哲学		1・2		2	講		
	文化共生論		1		2	講		
	ワールド・スタディーズ		1		2	講		
平和と国際関係		1・2		2	講			
データサイエンスとAI		1・2		2	講			
学習基礎	基礎セミナーⅠ		1	2		演	看護学部は選択	
	基礎セミナーⅡ		1	2		演		
	情報処理Ⅰ		1	2		演		
	情報処理Ⅱ		1	2		演		
外国語	English CommunicationⅠ		1		2	演		
	English CommunicationⅡ		1		2	演		
	英語基礎Ⅰ		1		2	演		
	英語基礎Ⅱ		1		2	演		
	English & World Cultures		1		2	演		
	中国語		1		2	演		
	ハングル		1		2	演		
	スペイン語		1		2	演		
	諸外国語		1		2	演		
	実践中国語		1		2	演		
	実践ハングル		1		2	演		
	実践スペイン語		1		2	演		
	実践諸外国語		1		2	演		
学外活動 スポーツ	学外活動Ⅰ		1・2・3・4		2	実		
	学外活動Ⅱ		1・2・3・4		2	実		
	海外研修Ⅰ		1・2・3・4		2	実		
	海外研修Ⅱ		1・2・3・4		2	実		
	健康科学		1		2	演		
	体育実技		1		1	実		
キャリア系科目	人間学部	日本語表現		1		2	演	
		日本語語彙		2		2	演	
		情報科学Ⅰ		1		2	講	
		情報科学Ⅱ		2		2	講	
		ウェブデザインⅠ		1		2	演	
		ウェブデザインⅡ		2		2	演	
		データ処理概論		2		2	演	
		FP対策講座		2		2	講	
		ビジネス実務		2・3		2	実	
		キャリアマナー		2・3		2	演	
		キャリアのための基礎教養Ⅰ(社会系)		2		2	講	
		キャリアのための基礎教養Ⅱ(理数系)		2		2	講	
		キャリア・デベロップメント入門		1		2	演	
		キャリア・デベロップメント基礎		2		2	演	
		キャリア・デベロップメント展開		3	2		演	
		キャリア・デベロップメント実践		4		2	演	
		インターンシップ		2・3		2	実	

数理・データサイエンス・AI教育プログラム 取組概要

授業概要

本学の清泉AIリテラシー講座（MDASHリテラシーレベル）は、データと社会との関係性を学ぶ【導入】、データを扱うための基礎的な能力を学ぶ【基礎】、データやAIを利活用する際の倫理的・法的・社会的な留意点などを学ぶ【心得】などにより構成される。主として表計算ソフトの演習を通し、データの扱いを学習し、適切な動画教材等を用いて、AIによる社会の変化、データ・AIの活用領域や最新動向、データ・AI利活用のための技術や留意事項などを学習する。

プログラムの修了要件

大学共通教育科目として開講している「情報リテラシーⅡ」（2単位）について、単位を習得すること。

プログラムの改善や自己点検・評価を行う組織

情報システム委員会 MDASH教育部会

対象学生

全学部全学科の学生(必修科目)

教育プログラム名

【清泉AIリテラシー講座】

数理・データサイエンス・AI教育プログラムとモデルカリキュラム対応表

モデルカリキュラム分野／科目名	導入 社会におけるデータ・AI活用						基礎 データリテラシー			心得 データ・AI活用における留意事項	
	1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2
情報リテラシーⅡ (2単位)	社会で起きている変化	社会で活用されているデータ	データ・AIの活用領域	データ・AI利活用のための技術	データ・AI利活用の現場	データ・AI利活用の最新動向	データを読む	データを説明する	データを扱う	データ・AI利活用における留意事項	データを守る上での留意事項
	第1講 第5講	第1講 第5講	第2講 第5講	第2講 第5講	第3講 第5講	第3講 第5講	第1講～第14講			第4講 第5講	第4講 第5講

モデルカリキュラムとは、数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムが「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム ～ データ思考の涵養～」として取りまとめたものを指す。

http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/model_literacy.html

